

(素案)

～歴史と文化が薫り 自然と人が共生できる美しい島～

佐渡市 将来ビジョン (概要版)

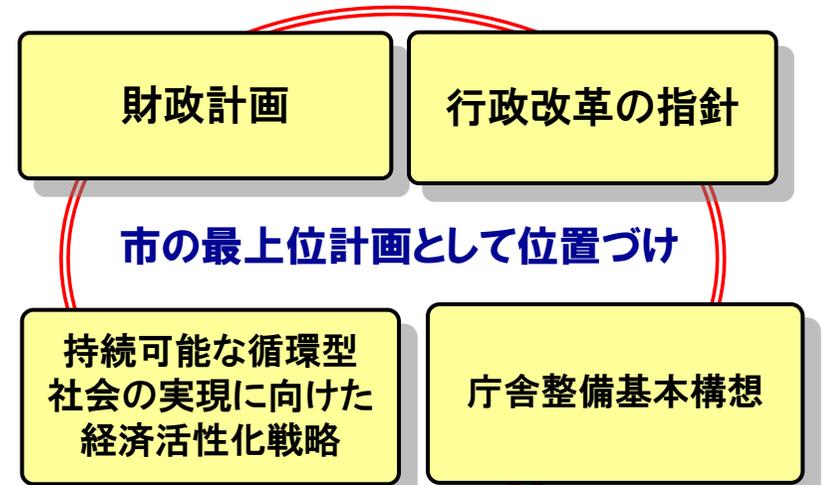
佐渡市では、平成29年3月〇日、平成31年度の佐渡市のあるべき姿を示した「佐渡市将来ビジョン」を策定しました。

人口減少により、今後も税収減や地域購買力の低下が見込まれていることから、平成27年7月31日策定しました「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「産業の振興」「雇用の創出」「観光・交流の促進」「生活しやすい環境の整備」「持続可能な地域づくり」を推進してきました。

一方、地域経済分析システムによると、佐渡市における支出総額2,774億円のうち、毎年1,090億円が島外へ流出していることが分かっており、地域経済縮小の影響を緩和して行くためには、島内で資金が循環する仕組みの構築が重要です。

そのため、島内で資金が循環する仕組みの構築を念頭に置きながら、「産業の振興」「観光地域づくりの推進」「交通ネットワークの充実」「佐渡活性化に向けた地域づくり」「災害に強い島づくり」の5つの戦略を主として「歴史と文化が薫り、自然と人が共生できる美しい島」を基本コンセプトとして、「持続可能な循環型社会の実現に向けた経済活性化」を目指す。

(循環イメージ図挿入)



平成31年度の佐渡市のあるべき姿

計画期間：平成29年度～平成31年度

財政計画

区分	H28当初	H29	H30	H31	
歳入	市税	5,124	5,140	4,964	4,915
	普通交付税	18,200	19,364	18,751	18,208
	市債	5,364	7,412	6,370	4,060
	その他収入	15,812	14,284	14,215	15,817
歳出	人件費	7,209	7,139	7,128	7,029
	公債費	7,681	7,417	7,376	7,739
	普通建設事業費	7,941	8,000	7,300	6,300
	その他経費	21,669	23,644	22,496	21,932
予算規模	44,500	46,200	44,300	43,000	

行政改革の指針

- 1 自立的な財政運営の推進
将来を見据えた人員、資産、財源の配分の適正化を図り、事業見直し等による歳出削減と自主財源確保に努める。
- 2 人材育成と組織・機構の改編
人材育成や評価により組織の活性化を図り、行政需要や地理的条件等に配慮した効率的な組織への改編を行う。
- 3 情報公開による信頼性の確保と行政サービスの向上
積極的に情報を公開し、市民の目線に立ったより質の高いサービスの提供に努める。

庁舎整備等基本構想

- 1 本庁舎整備の基本方針
長寿命化を図りながら、耐震性能を含めた防災拠点としての機能を強化する。
- 2 支所・行政サービスセンター機能及び整備の基本方針
耐震性能を有する庁舎に整備し、他の公共的機関を受入れ、複合施設として活用する。また、業務継続計画による代替庁舎機能として活用する。

持続可能な循環型社会の実現に向けた経済活性化戦略

基本方針

1 産業の振興

- 農林水産業の振興
- 雇用の確保につながる起業・第二創業等の推進
- 島外への販売戦略と島内循環の仕組みづくり

2 観光地域づくりの推進

- 佐渡版DMOを中心とした滞在交流型観光の振興
- 世界遺産登録に向けた受入態勢の整備

3 交通ネットワークの充実

- 航路運賃の低廉化
- 交通空白地の解消

4 佐渡活性化に向けた地域づくり

- 子育て支援の充実
- 佐渡版地域包括ケアシステムの構築
- 元気で魅力的な地域づくり
- 未来につながる人材の育成と確保

5 災害に強い島づくり

- 組織力の向上と人材育成
- 体制の整備

平成31目標

- 農林水産物販売額: 6,400百万円/年
- 起業・規模拡大を含めた第二創業及び企業誘致した数: 50件(累計)
- 市内総生産: 2,000億円/年

- リポート率: 55.0%
- 佐渡観光旅館連盟加入旅館延宿泊数: 492,000人泊
- 満足度(大変満足の数): 25.0%

- 航路利用者数: 200万人/年
- 路線バス利用者数: 72万人/年

- 出生数: 440人
- モデル地区数: 2地区
- 若者定住支援数: 80人/年
- 中学生の職場体験日数: 5日/年

- 地域防災リーダー認定・登録者数: 300人
- 自主防災組織率: 100%

主な取組

- ◆ 佐渡米の品質向上や高付加価値化に関する支援
- ◆ 農家の所得向上(複合経営化)と新たな担い手の受入体制(新規就農者受入用圃地整備)の支援
- ◆ 施設園芸や各地域に適した農業再生に向けた中長期的なビジョンの策定
- ◆ 海上輸送コストの低廉化への支援(特定有人国境離島等)
- ◆ 雇用の受け皿促進のための民間事業者等の支援(特定有人国境離島)
- ◆ ジアス認定を活用したブランド力の強化と販路拡大に向けた取組への支援

- ◆ 食や体験など地域の魅力を高めた旅行商品化等(特定有人国境離島)
- ◆ 文化的遺産等を活用した体験メニュー等の開発
- ◆ 冬期に顧客満足度の高い旅行商品の造成等、通年観光の推進
- ◆ 外国人観光客への対応、クルーズ船の誘致や受入態勢の充実
- ◆ ガイド養成・窓ロー元化(ソフト)、トイレ洋式化、Wi-Fi整備等(ハード)
- ◆ 「文化財探訪マップ」の英語版作成と日本語版改訂、解説板整備
- ◆ 世界遺産登録に向けた首都圏講演会・保存整備・ガイドンス施設建設
- ◆ 島民一丸となった道路の草刈等、環境美化活動の推進

- ◆ 高速道路や旅行販売サイトとの連携、広告宣伝による車両航送促進
- ◆ 島民の航路運賃低廉化(特定有人国境離島)
- ◆ 島内の交通実態調査

- ◆ 保育料・幼稚園授業料2人目無料化
- ◆ 土曜日午後保育と病後児保育
- ◆ 佐渡版地域包括ケアシステムの構築
- ◆ 医療・介護・福祉が連携した人材育成・確保、奨学資金無償貸与
- ◆ 「佐渡Uターンサポートセンター」開設による移住・定住支援強化
- ◆ キャリア教育による郷土愛醸成、職場体験の充実
- ◆ 学生向け奨学金の貸与
- ◆ 中小企業の人材育成に係る資格取得や研修会への参加支援

- ◆ 地域防災リーダーの知識向上に向けたスキルアップ研修
- ◆ 避難所施設の修繕・改修等に要する経費の補助